

図研アルファテック製品

NW ライセンスログ 解析ツール (Reprise 版)

ユーザーガイド

本書は、図研アルファテック製品の 2025 バージョン以降をネットワークライセンスでご使用ユーザ向けの Reprise 版ネットワークライセンスログ解析ツールのユーザガイドです。



図研アルファテック製品 NW ライセンスログ解析ツール(Reprise 版)ユーザガイド(以下、本書)について説明しています。
本書の画面ダンプは一例です。実際の画面と異なる場合があります。

ご注意

本書の内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

BricsCAD は Bricsys 社(https://www.bricsys.com/ja_JP/)の登録商標です。

1.目次

1. はじめに.....	1
1-1. NW ライセンスログ解析ツールの目的.....	1
1-2. NW ライセンスログ解析ツールの提供形態.....	1
1-2-1. フォルダ内ファイル一覧.....	1
1-2-2. 実行ツール.....	2
2. ライセンスログ解析方法.....	3
2-1. ツールの準備.....	3
2-2. 解析対象ログファイルの準備.....	3
2-3. NW ライセンスログ解析ツールの実行.....	4
2-4. 解析の流れ.....	6
2-5. 解析の種類.....	7
2-5-1. 使用数の推移タブ.....	7
2-5-2. ユーザ別使用状況タブ.....	7
2-6. NW ライセンスログ解析ツールダイアログ.....	8
2-6-1. 対象製品（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）.....	8
2-6-2. 対象期間（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）.....	8
2-6-3. 集計範囲（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）.....	8
2-6-4. 形式（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）.....	9
2-6-5. 集計単位（使用数の推移）.....	9
2-6-6. 種類（ユーザ別使用状況）.....	10
2-6-7. ユーザの絞込み.....	11
3. 解析結果 例.....	14
3-1. 使用数の推移 出力.....	14
3-1-1. 表示 グラフ.....	14
3-1-2. グラフ 書式-フォント表示調整.....	15
3-1-3. グラフ 書式-軸の設定.....	16
3-1-4. グラフを画像として保存(PDF).....	17
3-1-5. グラフの CSV 出力例.....	21



1.はじめに

NW ライセンスログ解析ツールユーザガイドの目的と流れについて説明します。

1-1.NWライセンスログ解析ツールの目的

NW ライセンスログ解析ツールはアルファテック製品の 2025 バージョンのネットワークライセンス(Reprise 版)をご使用の環境で、Reprise のデバッグログを利用してライセンスの使用状況を目視的に確認することを目的としたツールです。Reprise ライセンスサーバー管理にて設定、出力されたデバッグログの出力内容をライセンス製品ごとにユーザー@PC 名で解析した結果をグラフ(専用ウインドウイメージ)で表示、または CSV へ出力します。

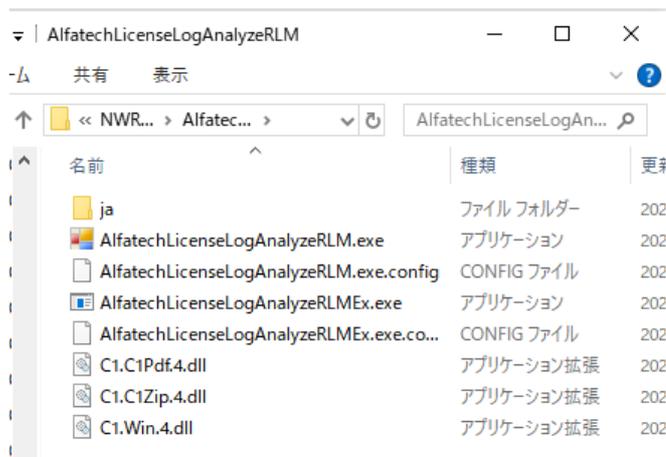
1-2.NWライセンスログ解析ツールの提供形態

NW ライセンスログ解析ツールは、図研アルファテックのホームページからダウンロードが可能です。

ダウンロードファイル: AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx

1-2-1.フォルダ内ファイル一覧

ダウンロードファイル内のツールフォルダを表示した例です。



本ツールをご使用になる場合、必ずフォルダ内の上記すべてのファイルをセットでご使用ください。

「AlfatechLicenseLogAnalyzeEx.exe」の単体実行は実行できません。

同じ場所にフォルダ内のファイル(AlfatechLicenseLogAnalyzeEx.exe.config、lmutil.exe)と ja フォルダが必要です。

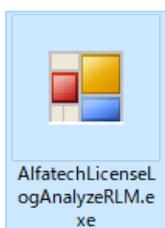
任意の場所に保存されます場合は必ずフォルダしてください。

1-2-2.実行ツール

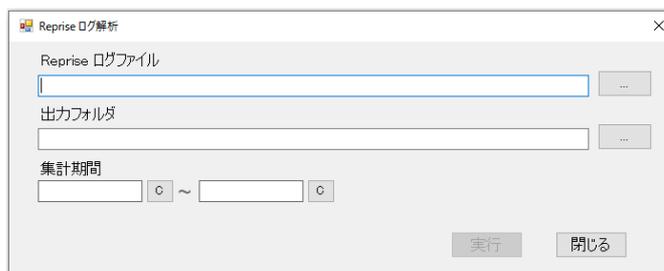
ダウンロードフォルダ内には、簡易的にログ解析を行うツールと本書で説明する解析プログラムのツールの2種類があります。

【簡易ログ解析】

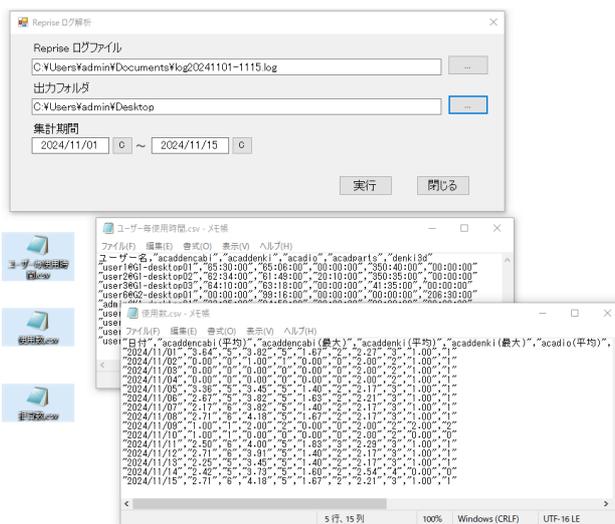
ツール名: AlfatechLicenseLogAnalyzeRLM.exe



実行後のダイアログ

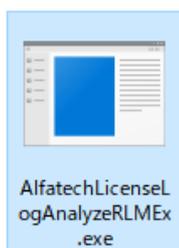


指定したログファイル内の期間範囲から期間を指定して、csvに「ユーザー毎の使用時間」「使用ライセンス数」等に出力します。出力されたファイルはエクセルなどでご利用いただけます。



【NW ライセンスログ解析ツール】

ツール名: AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx.exe



本マニュアルでは「AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx.exe (NW ライセンスログ解析ツール)」の使用方法について説明しています。

2.ライセンスログ解析方法

Reprise のデバッグログを利用して、NW ライセンスログ解析ツールでライセンス使用状況を解析する手順について説明します。

2-1.ツールの準備

ダウンロードしたファイルを解凍し、「AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx.exe」を実行できる状態にします。

2-2.解析対象ログファイルの準備

ライセンス解析を行うログ内容は、Reprise ライセンスサーバ管理の「Reprise ライセンス管理」で確認することが可能です。
(Reprise ライセンスサーバ管理)

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Status for "rim" on Server2022 (port 5058)

RLM software version	v11.1 (build:2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rim.log
license files	RLM_NW_license_lic

rim Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	10/11 08:44:27	11/05 00:00:49	11/05 13:44:26
Messages	76 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Connections	76 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)

EDIT rim Options
SHOW rim Debug Log

ISV Servers		Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN
		alfatech	49669	Yes	0	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech

左側の[Status]をクリックし、ライセンス画面から「Debug log」項目の[alfatech]をクリックします。

Debug Log の画面が表示されます。

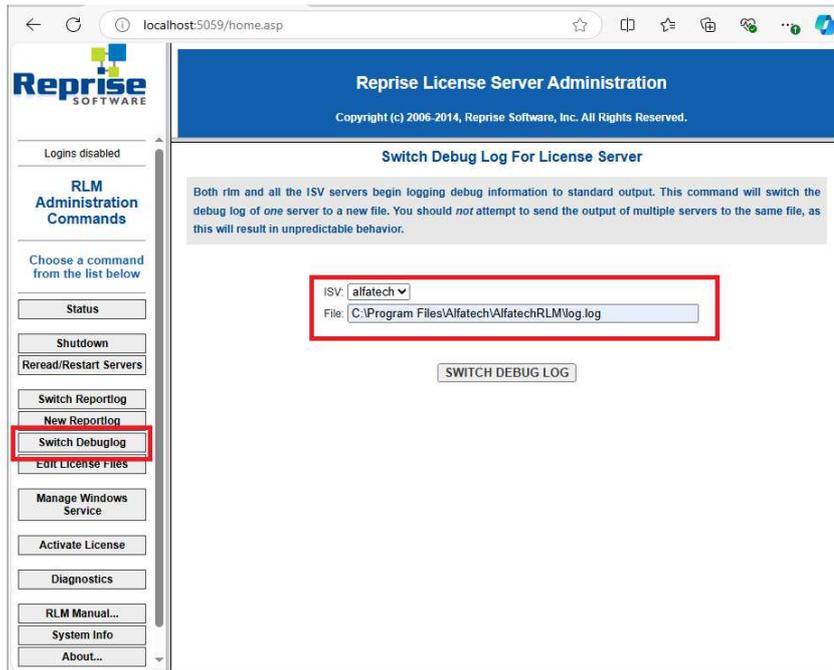
Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Recent Debug Log Entries

```
ISV alfatech Debug Log, last 20 lines
10/31 14:58 (alfatech) OUT: acad10 v26 by admin@desk-gpu599 (bc_lite)
10/31 14:58 (alfatech) IN: acad10 v26 by admin@desk-gpu599
10/31 14:58 (alfatech) OUT: acad10 v26 by admin@desk-gpu599 (bc_lite)
10/31 14:58 (alfatech) IN: acad10 v26 by admin@desk-gpu599
10/31 14:58 (alfatech) OUT: acad2arts v26 by admin@desk-gpu599 (bc_lite)
10/31 14:58 (alfatech) IN: acad2arts v26 by admin@desk-gpu599
10/31 14:58 (alfatech) IN: acad2en1 v26 by admin@desk-gpu599
11/05 00:00 (alfatech) ===== Reread request by automatic@midnight =====
11/05 00:02 (alfatech) IN: acad1ika v26 by user1@win11nou
11/05 00:02 (alfatech) IN: acad2encabi v1.0 by user1@win11nou
11/05 00:06 (alfatech) IN: acad2encabi v26 by admin@desk-gpu599
11/05 00:00 (alfatech) ===== Reread request by automatic@midnight =====
11/05 00:00 (alfatech) ===== Reread request by automatic@midnight =====
11/05 00:00 (alfatech) ===== Reread request by automatic@midnight =====
11/05 00:00 (alfatech) ===== Reread request by automatic@midnight =====
11/05 14:16 (alfatech) Switching debug log to C:\Program
Files\Alfatech\AlfatechRLM\log.log
```

Refresh
BACK

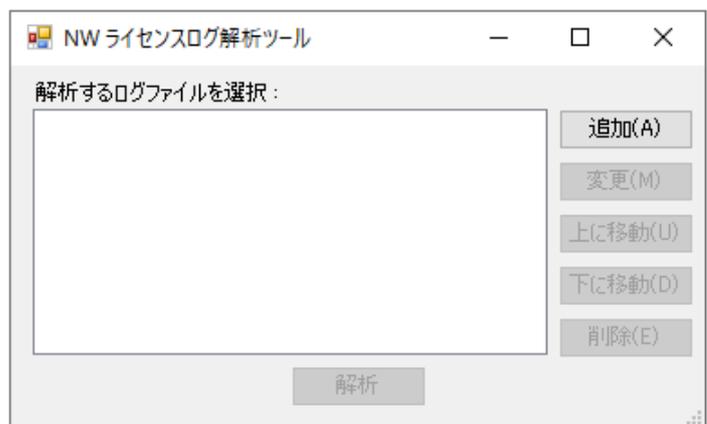
デバッグログは[Swich Debuglog]から、ISV:alfatech を指定し、File にデバッグログを出力するパスとファイル名を指定することが可能です。



指定後、[SWITCH DEBUG LOG]ボタンをクリックします。

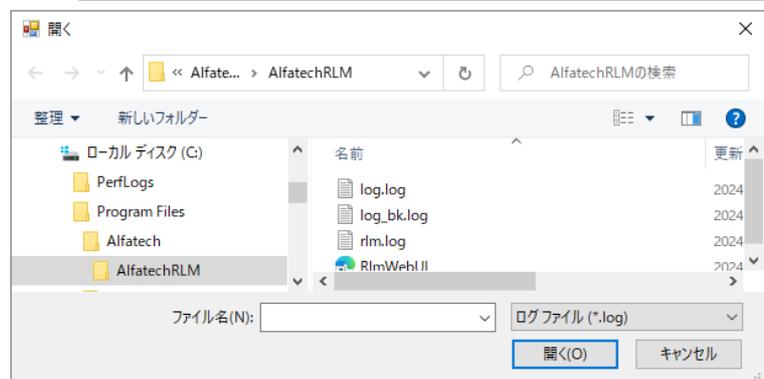
2-3.NW ライセンスログ解析ツールの実行

- 1.「AlfatechLicenseLogAnalyzeEx.exe」を実行します。
NW ライセンスログ解析ツールダイアログが表示します。
ここでは、解析するログファイルを選択します。



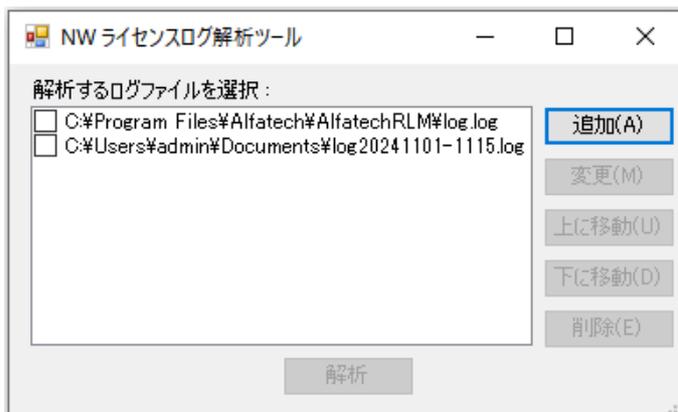
- 2.「追加」をクリックします。

- 3.開くダイアログが表示されます。
解析するログファイルを選択し、「開く」をクリックします。
(複数選択可)



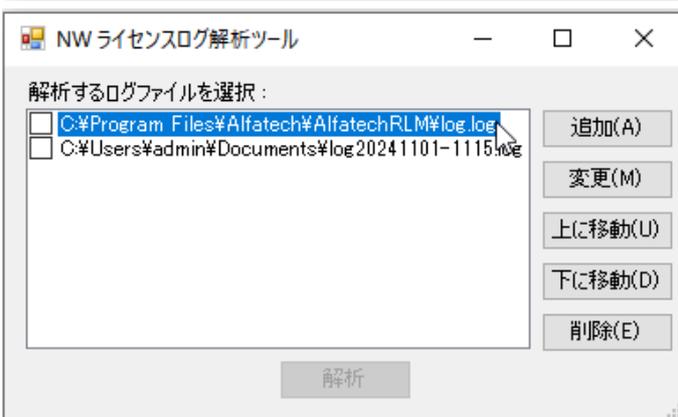
4. 選択したログファイルが表示されます。

[追加]をクリックし、他のファイルを選択することができます。



表示されたログファイルの何れかを選択すると、右側のボタンがアクティブになります。

ログファイルの変更/並び順の変更(上に移動/下に移動)/削除を行うことが可能です。



【ダイアログ説明】

名称/ボタン名 : 説明

解析するログファイルを選択: 解析を行うログファイルの一覧を表示します。

(チェックボックス)

チェック有り: 解析対象のログファイル

チェック無し: 解析非対象のログファイル

(行選択)

1 行選択: 変更/上に移動/下に移動/削除 の対象となります。

複数行選択: 上に移動/下に移動/削除 の対象となります。

追加: 解析するログファイルを追加します。

変更: 解析するログ一覧で選択した行のログファイルを変更します。

上に移動: 解析するログ一覧で選択した行を上に移動します。

下に移動: 解析するログ一覧で選択した行を下に移動します。

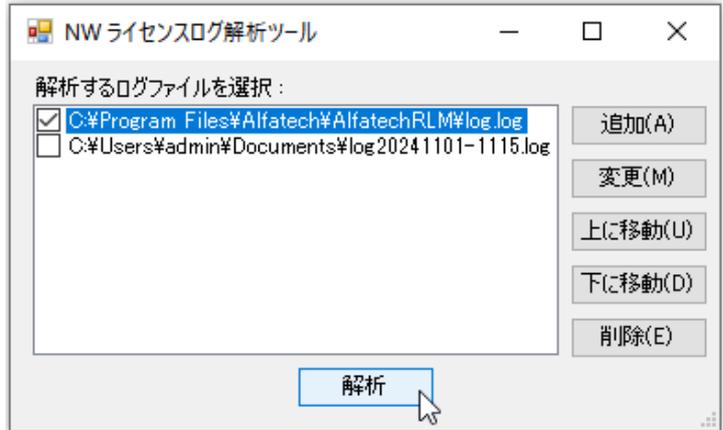
削除: 選択したログファイルを解析するログファイルの一覧から削除します。

解析: 解析するログ一覧で選択したログを解析します。

2-4.解析の流れ

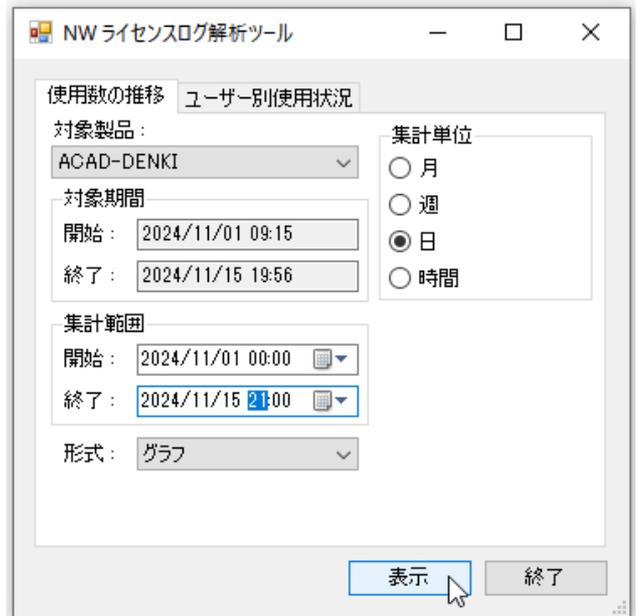
ライセンスサーバーで出力したライセンスログを指定して解析する流れについて説明します。

- 1.解析を行うログファイルの左横のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2.[解析]ボタンをクリックします。

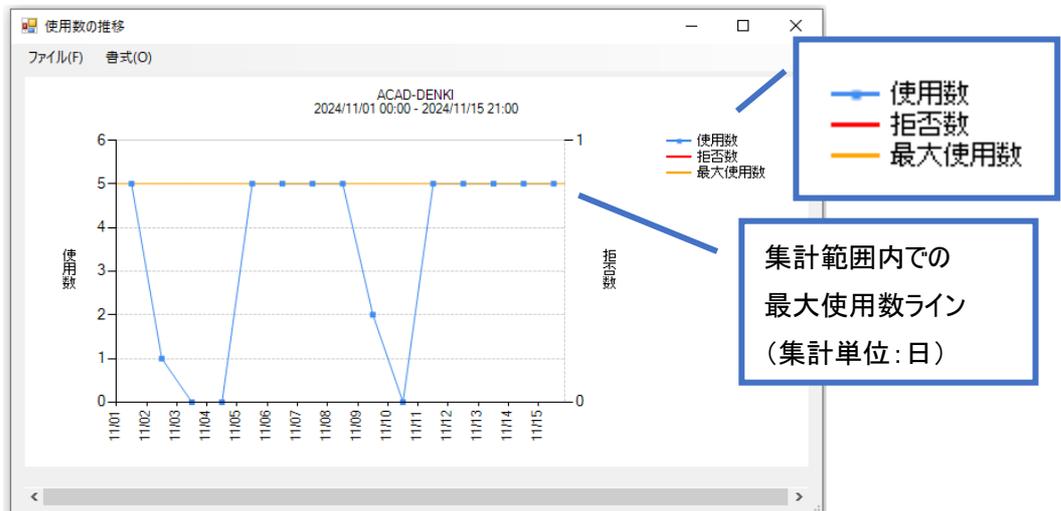


- 3.NW ライセンスログ解析ツールダイアログが解析内容のタブ表示に変わります。
本例では「使用数の推移」タブでの解析結果を表示します。

- 4.解析内容を選択・入力し[表示]ボタンをクリックします。



「使用数の推移」がウィンドウで表示されます。

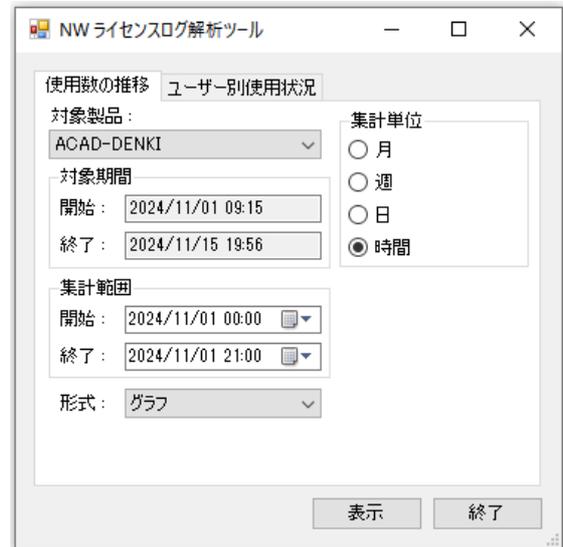


2-5.解析の種類

Reprise ライセンスログ解析ツールの解析種類について説明します。

2-5-1.使用数の推移タブ

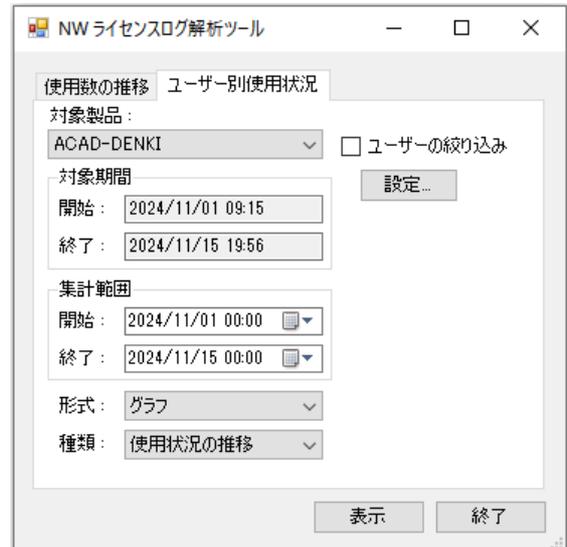
「対象製品」から製品を選択し、「対象期間」「集計単位」「集計範囲」等を設定し、ログファイル内の内容を「形式」で指定したグラフ(イメージ)または CSV として出力します。



2-5-2.ユーザ別使用状況タブ

「対象製品」で選択した製品の使用数をユーザ別に抽出したい場合に使用します。

「対象期間」「集計単位」「集計範囲」等を設定し、総数をグラフに表示または CSV として出力します。



2-6.NW ライセンスログ解析ツールダイアログ

NW ライセンスログ解析ツールダイアログの各設定について説明します。

2-6-1.対象製品（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）

選択ログファイル内で使用されているすべての製品が表示されます。

対象期間内に使用されていない製品は表示されません。

解析を行う対象製品として一覧から 1 つを選択します。

複数選択は出来ません。

対象製品：



2-6-2.対象期間（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）

選択ログファイルの「解析」結果から、一番古いサービス開始日時を「開始」項目に表示します。

選択ログファイルの「解析」結果から、一番新しいサービス開始日時を「終了」項目に表示します。

(TIMESTAMP の値ではありません。)

対象期間

開始：	2024/11/01 09:15
終了：	2024/11/15 19:56

2-6-3.集計範囲（使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通）

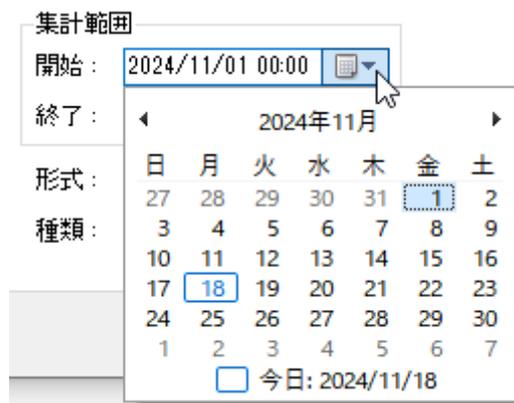
解析結果を表示する集計対象期間の範囲を指定します。

集計範囲

開始：	2024/11/01 00:00	📅
終了：	2024/11/15 00:00	📅

範囲は「対象期間」の開始/終了の範囲で指定します。

集計範囲の右横のアイコンをクリックすると、カレンダーを表示します。

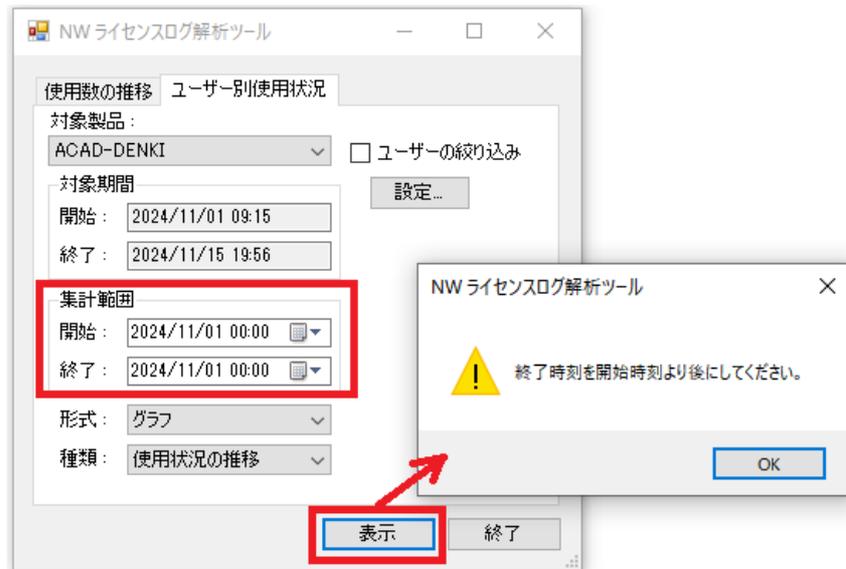


直接日付を入力、またはカレンダーを表示して日付を選択します。

(2 回目以降の NW ライセンスログ解析ツール実行時の表示について)

- ・集計範囲は前回値を表示
- ・「解析するログファイル」の再指定で、前回値が対象期間の範囲外の時、対象期間の重複した範囲だけを表示
- ・集計範囲の開始より新しい日を終了に指定不可

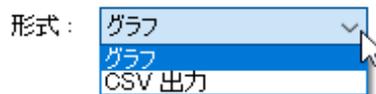
集計範囲の開始より新しい日を終了に指定した場合のメッセージ



この場合は集計範囲を再設定してください。

2-6-4.形式(使用数の推移/ユーザ別使用状況 共通)

解析結果を出力する形式をグラフ(イメージ)または CSV 出力 から選択します。



グラフ:[表示]をクリックすると、イメージウィンドウが表示します。

CSV 出力:[表示]をクリックすると、CSV ファイルを保存するダイアログが表示します。

2-6-5.集計単位 (使用数の推移)

使用数の集計単位を選択します。

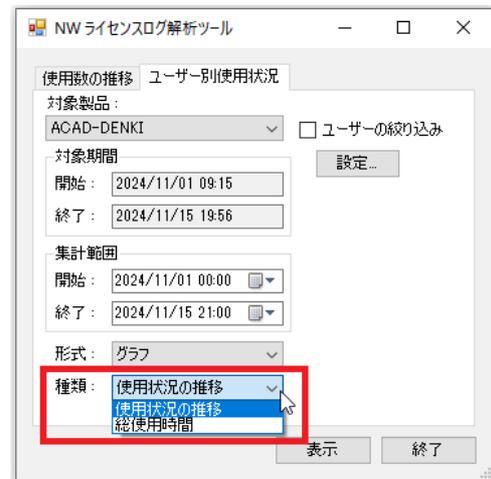


集計範囲が広範囲になる場合、月単位などで表示されることをお勧めします。

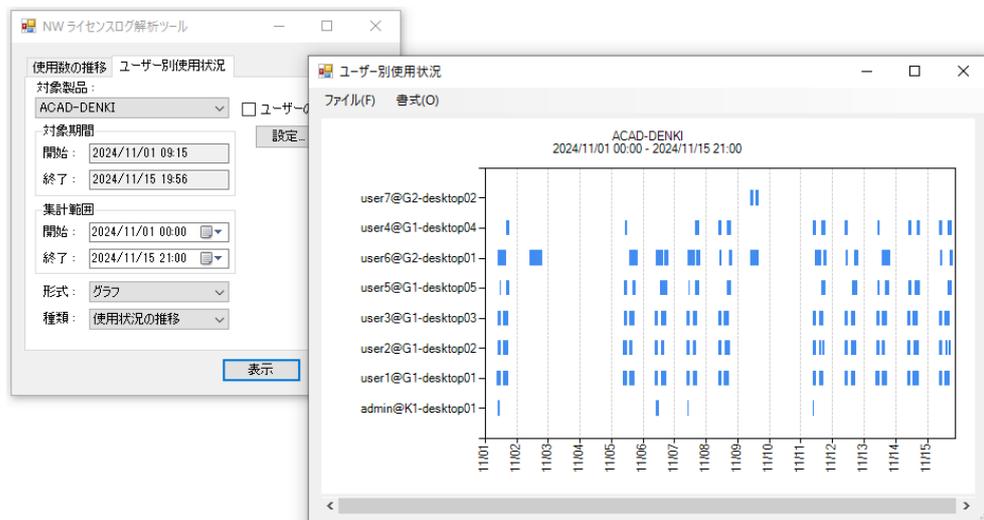
2-6-6.種類（ユーザ別使用状況）

グラフ表示イメージの種類を指定します。

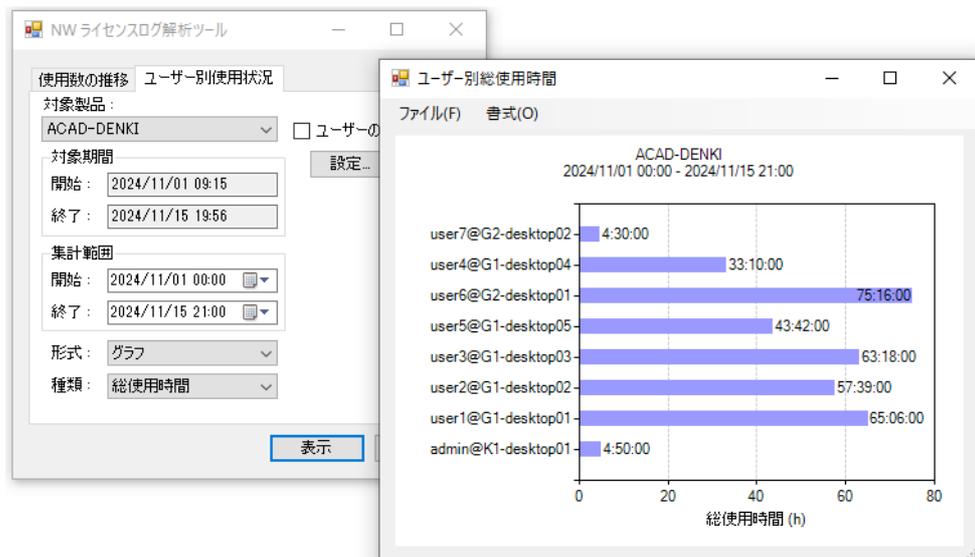
種類は使用状況の推移 または 総使用時間から選択します。



【使用状況の推移】

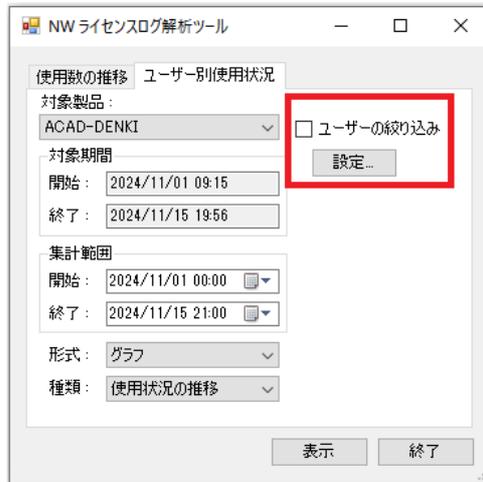


【総使用時間】



2-6-7. ユーザの絞り込み

ログファイルの解析結果をもとにライセンスを使用したユーザー毎の情報を表示する機能です。



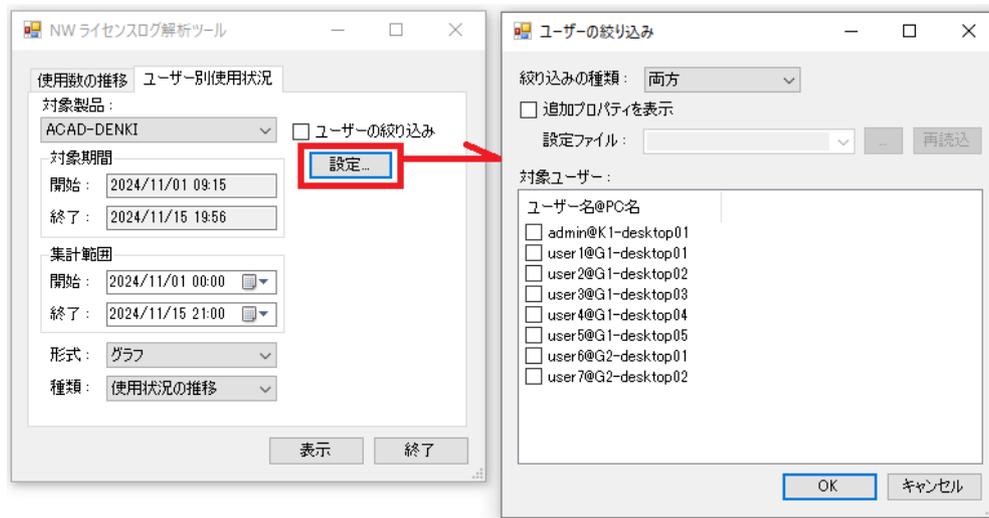
【ユーザーの絞り込み】

チェック無し: 使用状況を表示するユーザの絞り込みを行いません。総てのユーザの情報を出します。

チェック有り: [設定]でチェックが入力されているユーザのみ使用状況の情報を出します。

【設定】

ユーザーの絞り込みダイアログが表示します。「絞り込みの種類」「対象ユーザー」などを設定して出力内容の絞り込みを設定します。



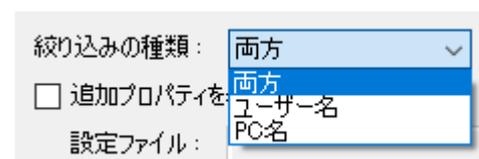
・絞り込みの種類

対象ユーザーの絞り込みを行います。

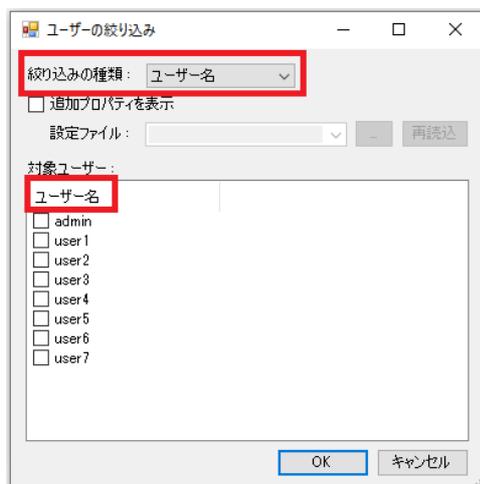
両方 : PC名@ユーザー名で絞り込みます。

ユーザー名 : ユーザー名で絞り込みます。

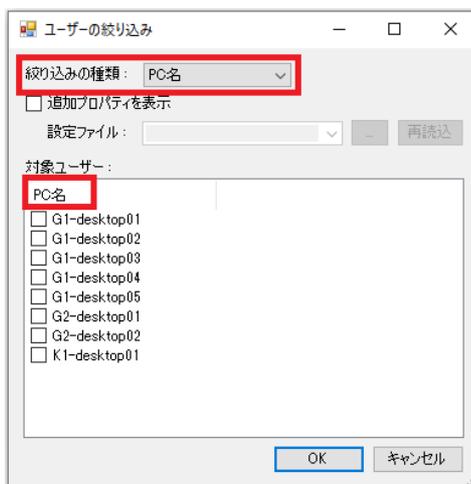
PC名 : PC名で絞り込みます。



絞り込み種類「ユーザー名」の表示例



「PC 名」の表示例



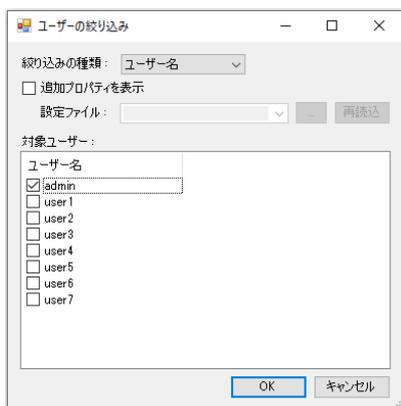
・対象ユーザー

出力する対象ユーザーの左側ボックスにチェックを入力し選択します。

チェックボックスにチェックを入力しをクリック絞り込むユーザーの選択を行います。

SHIFT または CTRL キーを押し複数選択後、チェックボックスをクリックすると複数選択が可能です。

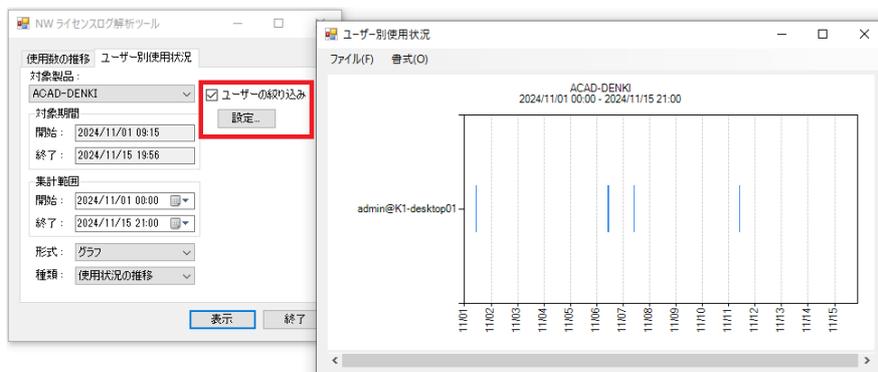
【ユーザー名絞り例】



チェック無し(対象ユーザーすべてが表示)



チェック有り(絞り込んだユーザーのライセンス使用推移のみ表示)



・追加プロパティの表示

追加プロパティを表示

設定ファイル: ...

チェックを入力すると設定ファイルの選択が可能になります。

設定ファイルを指定することで「対象ユーザ」項目にプロパティを表示することができます。

プロパティ情報は絞り込みユーザの情報を目安として表示することだけが目的となります。

この情報が解析のグラフに影響を与えることはありません。また、反映させることもできません。

設定ファイル(.csv)はユーザ様にて事前に準備して頂く必要があります。

設定ファイル(.csv)ファイルにユーザ情報を登録します。

(登録例)

1 行目: 項目名を入力します。

1 列目: アカウント名または PC 名を登録します。先頭に”@”のあるものを PC 名と判断します。

2 列目以降: 項目数に制限はありません。必要な情報の項目を列ごとに作成してください。

膨大な列数を指定された場合読み込みに時間がかかります。

設定ファイル(CSV)読み込み結果例

	A	B	C	D	E	F
1	USER/PC	ITEM1(名前)	ITEM2(部署)	ITEM3(グループ)	ITEM4(その他)	
2	user1	東	設計G1	電気	専用	
3	user2	西	設計G1	電気	専用	
4	user3	南	設計G1	電気	専用	
5	user4	北	設計G1	電気	共有	
6	user5	DENKI	設計G1	電気	共有	
7	user6		設計G2	機械	専用	
8	user7	KIKAI	設計G2	機械	共有	
9	@K1-desktop01		設計管理	管理	固定	
10						

ユーザーの絞り込み

絞り込みの種類: 両方

追加プロパティを表示

設定ファイル: C:\Users\Admin\Desktop\追加プロパティ情報.csv

対象ユーザー:

ユーザー名@PC名	ITEM1(名前)	ITEM2(部署)	ITEM3(グループ)	ITEM4(その他)
<input type="checkbox"/> admin@K1-desktop01		設計管理	管理	固定
<input type="checkbox"/> user1@G1-desktop01	東	設計G1	電気	専用
<input type="checkbox"/> user2@G1-desktop02	西	設計G1	電気	専用
<input type="checkbox"/> user3@G1-desktop03	南	設計G1	電気	専用
<input type="checkbox"/> user4@G1-desktop04	北	設計G1	電気	共有
<input type="checkbox"/> user5@G1-desktop05	DENKI	設計G1	電気	共有
<input type="checkbox"/> user6@G2-desktop01		設計G2	機械	専用
<input type="checkbox"/> user7@G2-desktop02	KIKAI	設計G2	機械	共有

設定ファイルに無いユーザのプロパティは空となります。

PC 名の登録が無い場合、ユーザ名の情報が表示されます。

ユーザ名の情報が@PC 名の情報より優先して表示されます。

ユーザ名の登録が無い場合、PC 名の情報が表示されます。

3.解析結果 例

解析結果について例を示し説明します。

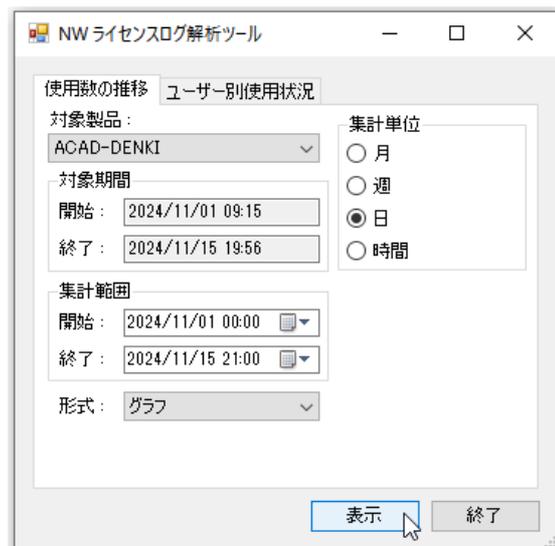
3-1.使用数の推移 出力

使用数の推移を設定し、出力した結果の例を表示します。

3-1-1.表示 グラフ

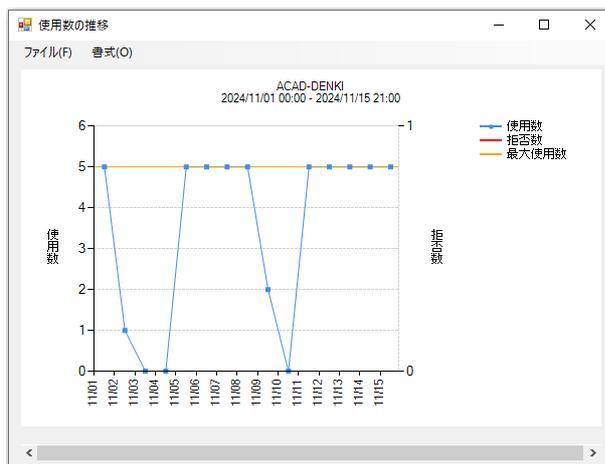
1.集計単位を指定します。

2.[表示]をクリックします。

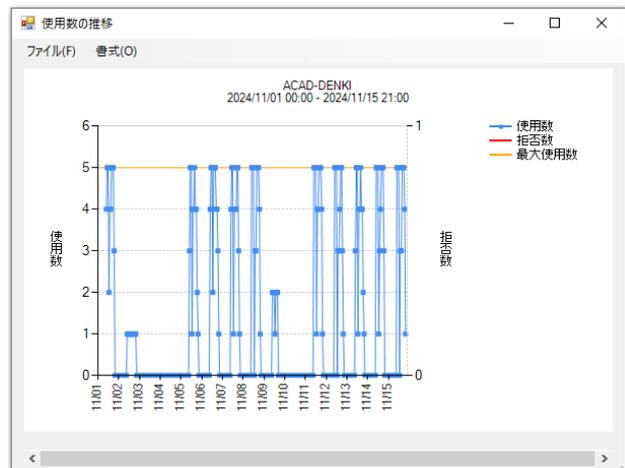


グラフが表示します。

集計単位に”日”を指定した例

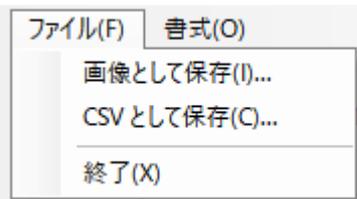


集計単位に”時間”を指定した例”



【グラフのメニュー】

・ファイル



画像として保存: 表示内容をイメージまたは、PDFとして保存します。

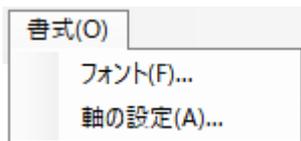
(保存形式: png, bmp, pdf)

CSVとして保存: 抽出内容を CSV に保存します。

各設定の「形式」で CSV を選択し出力した結果と同じ結果となります。

終了 ウィンドウを終了します。

・書式



フォント: ウィンドウに表示されている文字のフォント表示を変更します。

専用のダイアログにて設定を行います。

軸の設定: ウィンドウに表示する「表示範囲」と「横軸ラベル間隔」の範囲を変更します。

既定値を使用するにチェックが入っている場合、「使用数の推移」の集計単位の設定となります。

3-1-2. グラフ 書式-フォント表示調整

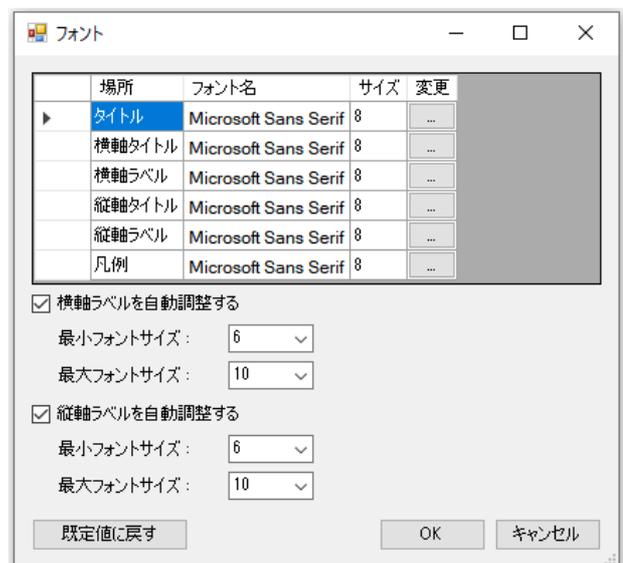
グラフィメージのフォントの書式を変更することが可能です。

1. [書式]-[フォント]を選択します。

フォントダイアログが表示します。

グラフ表示の各軸、タイトルラベルのフォントの指定を行うことが可能です。

2. [OK]をクリックして終了します。

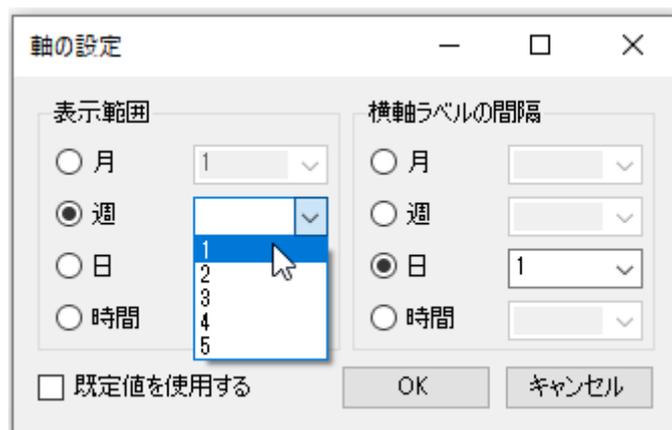


3-1-3.グラフ 書式-軸の設定

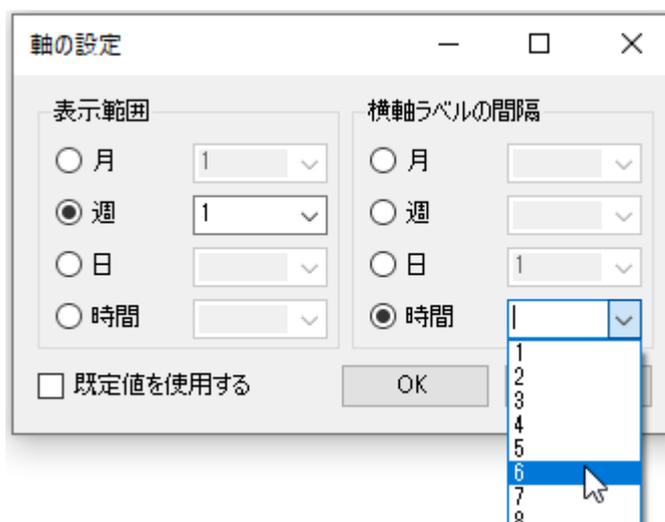
- 1.[書式]-[軸の設定]を選択します。
- 2.「既定値を使用する」のチェックをはずします。



- 3.「表示範囲」で”週”を選択し右側のコンボボックスから”1”を選択します。

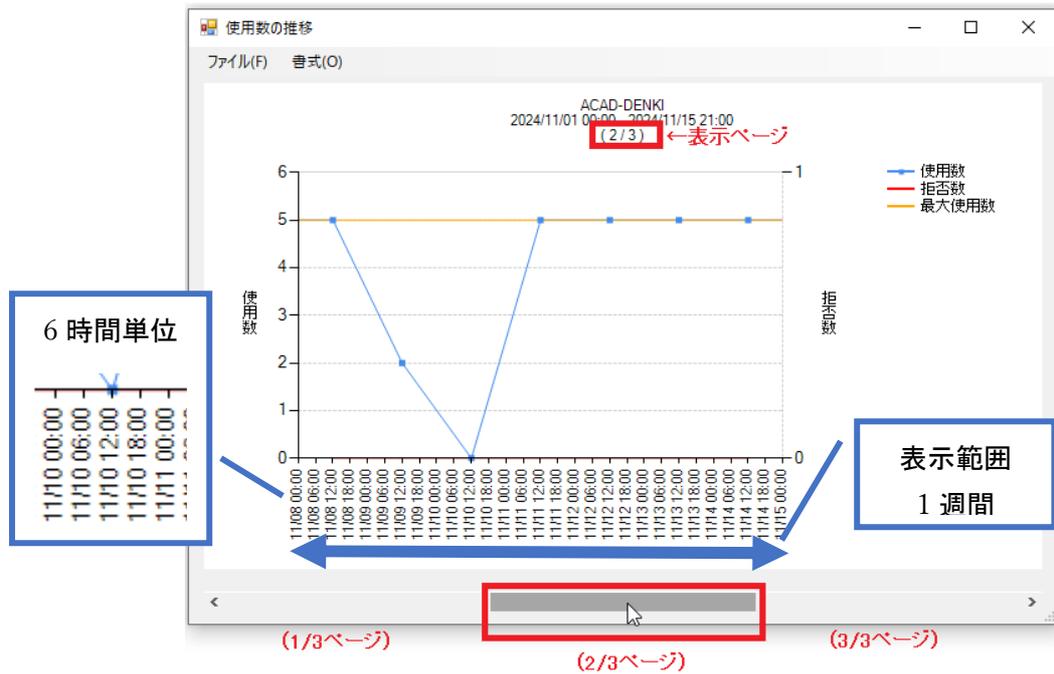


- 4.「横軸ラベルの間隔」で”時間”を選択し、”6”を選択します。



- 5.[OK]をクリックします。

グラフへの反映結果です。



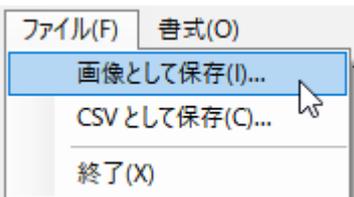
ウィンドウの上部に”表示ページ/総ページ数”が表示されます。

この場合は 3 ページ有り、2 枚目を表示している状態です。

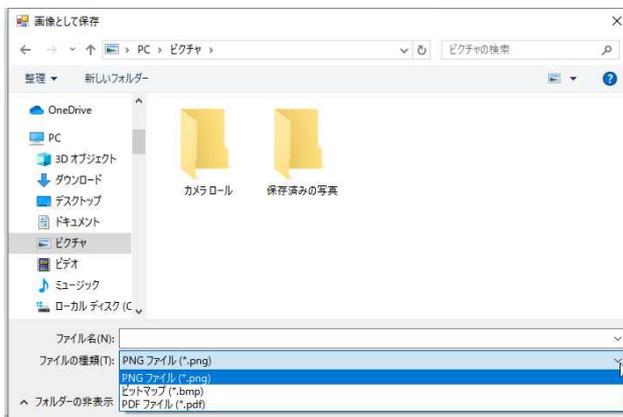
ウィンドウ下側のスライダーでページを切り替えることが可能です。

3-1-4. グラフを画像として保存(PDF)

1. [ファイル]-[画像として保存]を選択します。



2. 画像として保存ダイアログが表示します。



ファイルの種類

.png、.bmp

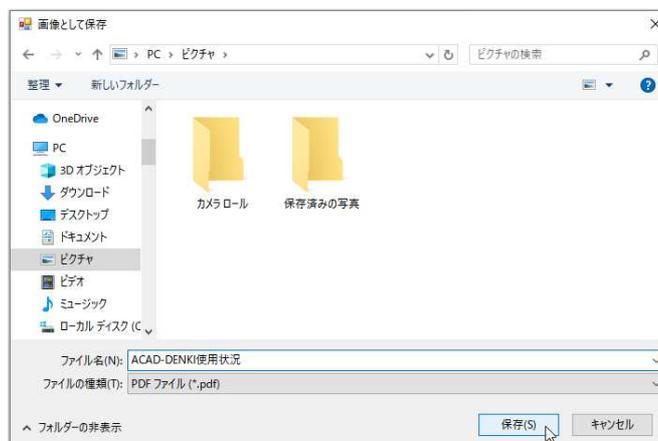
:ビットマップイメージとして保存します。

*.pdf

:pdf ファイルを作成します。

3.保存する場所、ファイル名を指示します。

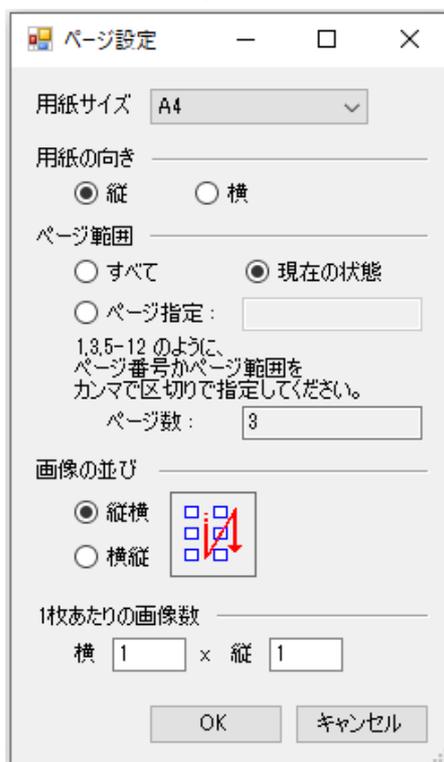
ファイル名 例:ACAD-DENKI 使用状況



4.[保存]をクリックします。

5.ページ設定ダイアログが表示します。

用紙サイズ、向き、ページ範囲、出力詳細を設定し pdf 出力を行います。



6.ダイアログ内を設定し[OK]をクリックします。

指定した場所に pdf が作成されます。作成後、任意にファイルを開いてください。

・PDF 出力のページ設定

用紙サイズ:A3、A4、A5、B4、B5 の何れかを選択します。

用紙の向き:縦、または、横 を選択します。

ページ範囲:すべて、現在の状態、ページ指定の何れかを選択します。

○すべて :ページ数[*]に表示されている総数をすべて出力します。

画像の並び、1枚あたりの画像数の設定が有効になります。

○現在の状態:現在表示されているページのみを1枚に出力します。

画像の並び、1枚あたりの画像数の設定は無視されます。

○ページ指定:出力範囲を数値で指定します。指定したページが出力されます。

画像の並び、1枚あたりの画像数の設定が有効になります。

画像の並び:縦横または横縦の何れかを選択します。



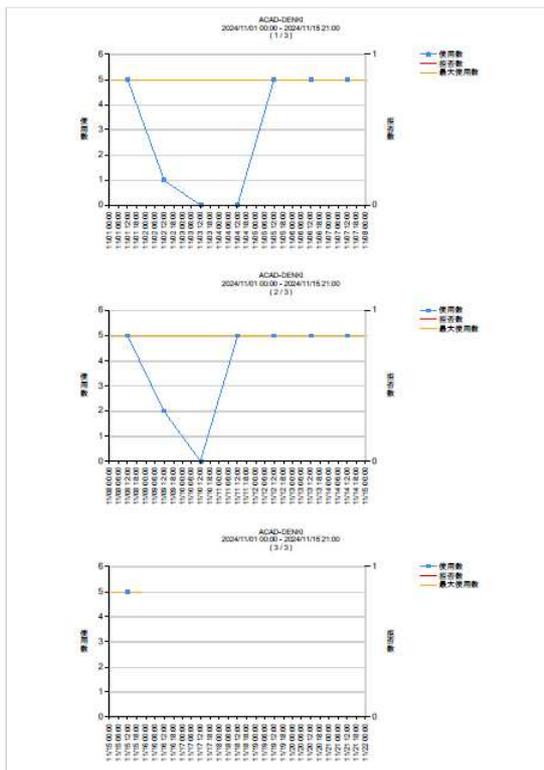
1枚あたりの画像数:画像の並び状態を数値で指定します。

画像の並びで設定した横縦、または、縦横の順に指定画層をPDF1ページに出力します。

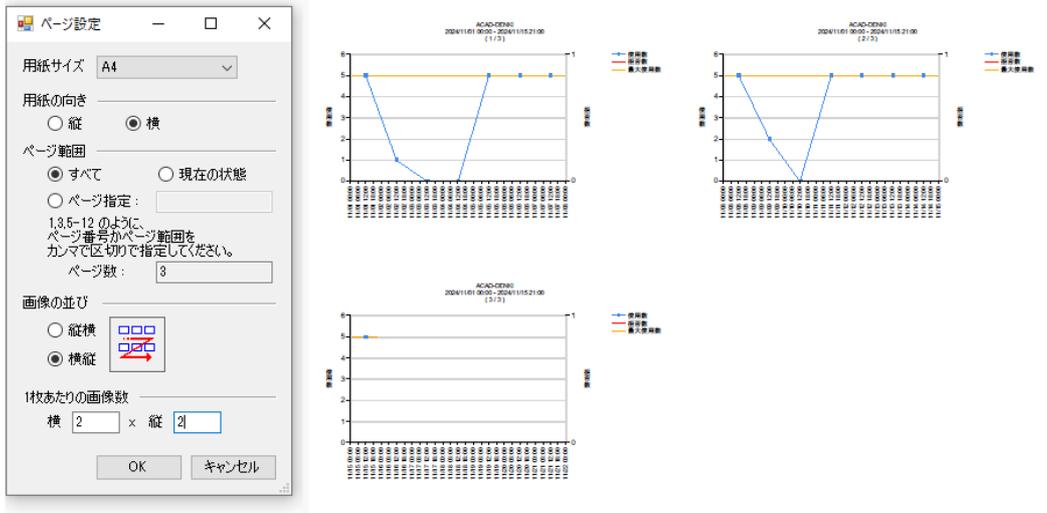
画総数を超えた場合は、2ページ目以降に同じ設定で出力されます。

【出力例】

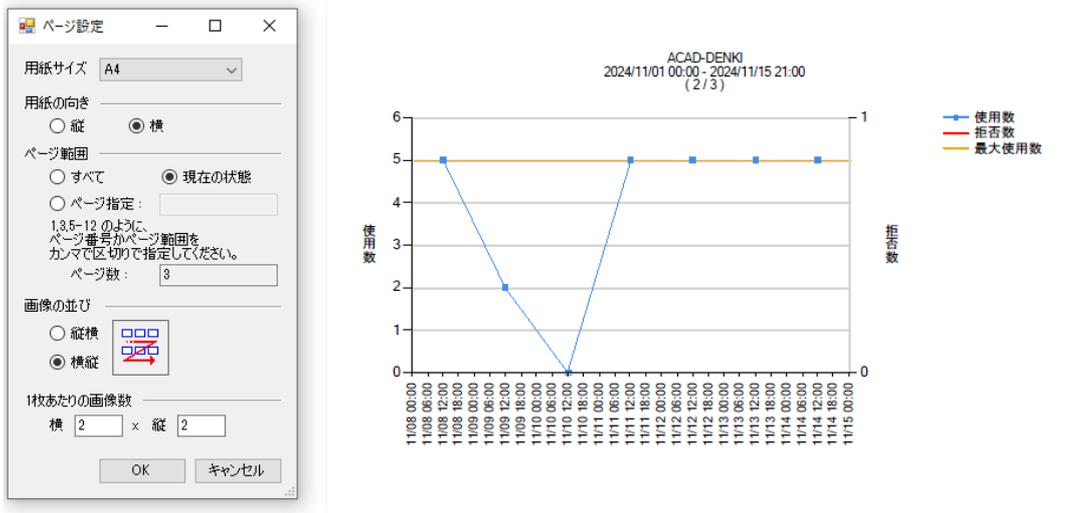
ページ範囲:すべて、画像の並び:縦横、1枚あたりの画像数:横[3]x縦[1]で出力した例



ページ範囲:すべて、画像の並び:横縦、1枚あたりの画像数:横[2]x縦[2]で出力した例

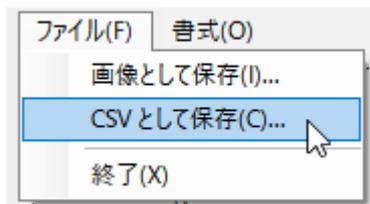


ページ範囲:現在の状態、(画像の並び、1枚あたりの画像数は無視されます)で出力した例



3-1-5.グラフの CSV 出力例

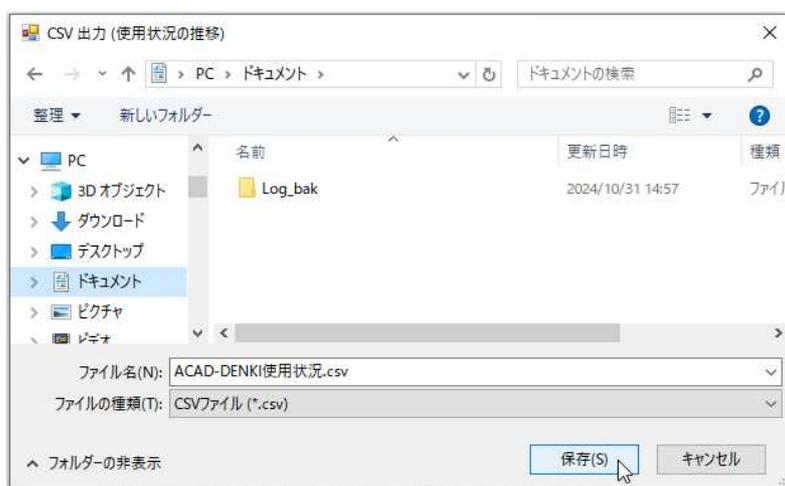
1.[ファイル]-[CSV して保存]を選択します。



2.CSV 出力(使用状況の推移)ダイアログが表示します。

保存場所、ファイル名などを指示、入力します。

3.[保存]をクリックします。



CSV をエクセルで開いた例です。

ユーザ別使用状況 CSV 出力例

	A	B	C	D	E
1	Date	acaddenki	Denied		
2	2024/11/1	5	0		
3	2024/11/2	1	0		
4	2024/11/3	0	0		
5	2024/11/4	0	0		
6	2024/11/5	5	0		
7	2024/11/6	5	0		
8	2024/11/7	5	0		
9	2024/11/8	5	0		
10	2024/11/9	2	0		
11	2024/11/10	0	0		
12	2024/11/11	5	0		
13	2024/11/12	5	0		
14	2024/11/13	5	0		
15	2024/11/14	5	0		
16	2024/11/15	5	0		
17					